

# アンビシャスの

# ペット避難の基礎知識

災害時、大切な家族であるペットを守るための準備と  
行動ポイントを確認しましょう

## 同行避難とは

災害が起きて避難する際、  
飼い主とペットと一緒に避難所など  
安全な場所へ移動する行動を指す

### ポイント

- ペットを置いていかず、必ず連れて行く
- 国(環境省)が推奨する「基本方針」である

## 同伴避難とは

避難所内で飼い主がペットを  
責任を持って世話をする状態を指す。  
被災者とペットが  
同じ部屋で世話をすることは、  
同室避難とも言われる。

### ポイント

- 基本的にペットは屋外のことが多い
- 自治体・避難所により、ルールが大きく異なる
- アレルギー・鳴き声・衛生面から対応していない避難所もある
- 同室避難は特例的な扱いになる場合が多い



## 1 ペット同行避難の確認



自治体の避難所の  
受け入れ状況を事前に確認する



ペットが過ごすのは屋内か屋外か？  
同室避難できるのか？  
…などを確認しましょう

ペット受け入れ可の避難所の  
有無を確認する

## 2 自分の暮らす地域の情報収集が重要



自治体のハザードマップを  
必ず確認する



自宅がどんな災害の影響を  
受けやすいか把握する



最新情報は  
自治体のホームページや  
防災アプリでチェック



可能な限り  
「複数の避難先」を確保する



我が家の避難方法を検討する



## ペット用避難バッグがあると便利です。

最低7日分の食べ物、水、薬、生活用品、  
飼い主&ペットの情報メモ（飼い主の連絡先とペットの写真、  
かかりつけの動物病院やワクチンの接種状況、既往症、健康状態）・・・などを  
ひとつのバッグにまとめておきましょう。  
一時的な避難場所としてペット用ケージも準備しておきましょう。

<p><b>フード&amp;水 食器など</b></p>	<p><b>使い慣れた トイレ砂やシート</b></p>	<p><b>薬・お薬手帳</b> アレルギー薬や治療薬など</p>	<p><b>マイペットカルテ</b> 飼い主&amp;ペットの情報メモ ペットの医療記録や 既往症・健康状態を メモしておく</p>
<p><b>大・小ゴミ袋</b> トイレや雨よけ用 ファスナータイプも!</p>	<p><b>排泄物の処理道具</b> トイレトーパーなど</p>	<p><b>ノンアルコール ウェットシート</b> 手足・顔を拭いたり 体を清潔に保つ</p>	<p><b>粘着テープ</b> 養生テープなど 避難時に ケージのふたをしめたり ケージの補修に使う</p>
<p><b>タオルやブラシなど</b></p>	<p><b>せんたくネット</b> 猫の逃亡予防や 治療時に役立つ</p>	<p><b>予備の首輪やリード</b> 洋服など 日頃から使って匂い をつけておこう</p>	<p><b>クレート・キャリー</b> 必ず準備すること!! 避難所に入れないことも あります</p>

## 迷子対策

首輪・迷子札の装着  
マイクロチップ登録の確認

最新の写真を保存

## 普段からのしつけトレーニング

ペット（特に犬）は普段からのしつけで、  
避難生活がストレス少なく暮らすことが可能です。  
クレートに落ち着いて入れる、  
トイレが決まった場所でできるなど  
普段から練習しておきましょう

## 避難時・避難後のポイント

### 1 避難時の注意

- まず飼い主が安全を確保
- キャリーに入れる、  
またはリードをしっかり装着
- パニックになったペットの逃走に注意



### 2 避難所でのマナー

- ケージに入れて、周囲への配慮を
- 無駄吠え・排泄の管理に努める
- 他の動物や人との距離を適切に保つ



### 3 避難生活を 落ち着かせるために

- いつもの匂いのある毛布や  
おもちゃを活用
- ストレスサイン（震え・食欲不振）を  
観察し早めの対応



🐾 自宅避難・車中避難・避難所のメリット・デメリット 🐾

避難方法	メリット	デメリット
自宅避難	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ペットが落ち着きやすい</li> <li>• 多頭飼いでも対応しやすい</li> <li>• 衛生管理がしやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 建物の安全性が確保できない場合は危険</li> <li>• 断水・停電・物資不足リスク</li> </ul>
車中避難	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 他の人や動物と距離を保てる</li> <li>• プライバシーを確保しやすい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 夏場の車内高温は命の危険</li> <li>• 長期は衛生・健康面が悪化 短期避難にとどめる</li> <li>• トイレ・物資管理が難しい</li> </ul>
避難所避難	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 支援物資や情報を得やすい</li> <li>• 建物が比較的安全</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ペットと離れて過ごす可能性</li> <li>• 吠え声・匂いへの配慮が必要</li> <li>• ケージ生活のストレス</li> </ul>

⚠️ どの方法がベストかは、災害の種類・家の強度・家族構成・ペットの状態によって変わります。

🐾 緊急時おたすけメモ

日頃からの備えと、いざという時の落ち着いた行動が  
あなたとペットの命を守ります。

● 飼い主情報

氏名: \_\_\_\_\_ 電話番号: \_\_\_\_\_

住所: \_\_\_\_\_

● ペット情報

名前: \_\_\_\_\_ 持病/アレルギー/服薬など: \_\_\_\_\_

種類/特徴: \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

● かかりつけ

動物病院名: \_\_\_\_\_

電話番号: \_\_\_\_\_

● その他の緊急連絡先(家族/知人など)

氏名: \_\_\_\_\_

電話番号: \_\_\_\_\_

緊急時にすぐ渡せる / 見せられるように記入しておきましょう 続柄/関係: \_\_\_\_\_